

2024年3月27日(水)第四水曜祈祷会

マタイの福音書27章11～26節

「バラバか、キリストか」

【27章前半のあらすじ】 *

- ①夜が明けると、イエスを死刑にするために、議員全員による最高法院が開かれた。
- ②ユダは、イエスが有罪判決を受けたと知って後悔し、銀貨三十枚を祭司長たちに返した。
- ③ユダが悔い改めて、赦しを乞うことができるとすれば、どうすればよかったですか。

【観察と黙想】

1. イエスの沈黙(27章11～14節)

- ①ピラトの「あなたはユダヤ人の王なのか」という質問にはどんな意味がありますか。
→
- ②イエスさまの「あなたがそう言っています」という答えにはどんな意味がありますか。
→
- ③祭司長たちの訴えに対し、イエスさまが沈黙されるのを見て、ピラトはなぜ驚いたのですか。
→

2. イエスの正しさ(27章15～19節)

- ①ピラトは当時の恩赦制度を用いて、イエスさまをどうしようと思ったのですか。
→
- ②バラバ・イエスという、名の知れた囚人とは、何を表していますか(ルカ 23:19、ヨハネ 18:40)。
→
- ③ピラトはどのようにしてイエスさまを釈放しようと思ったのですか。
→

3. イエスの判決(27章20～26節)

- ①ピラトの「どちらを釈放してほしいのか」と問いに、群衆はなぜ「バラバだ」と言ったのですか。
→
- ②暴動になるのを恐れて、ピラトが群衆の前で手を洗ったことにはどんな意味がありますか。
→
- ③民が言った「その人の血は私たちや私たちの子どもらの上に。」とは、どういう意味ですか。
→

【適用と分かち合い】

- ①ピラトはなぜ正しいことがわかっていながら、しなかったのですか(箴言 29:25、マタイ 10:28)。
- ②ピラトはイエスの判決を群衆に委ねることによって結果的にどうなりましたか(ヤコブ 4:17)。
- ③群衆の「ホサナ」という言葉が、「十字架につける」という言葉に変わったことをどう思いますか。